

第 35 回 歴史地震研究会 総会資料

日時：2018 年 9 月 24 日（月） 11:00～12:00

場所：J:COM ホルトホール大分 3 階会議室

総 会 次 第

開会

定足数確認、会長挨拶

議長選出

第一号議案 2017 年度事業報告および決算報告

幹事会から 2017 年度事業報告および決算報告を説明し、承認を求めます。

監査役から会計監査報告について説明があります。

第二号議案 会長選出

幹事会に届け出があった立候補者について説明します。会長の選出を求めます。

第三号議案 監査役選出

幹事会に届け出があった推薦について説明します。監査役の選出を求めます。

2018 年度会長挨拶、2018 年度役員指名

第四号議案 会則の改正

事務所所在地の住居表示変更を反映させるための会則改正を提案し、承認を求めます。

第五号議案 2018 年度事業計画および予算案

幹事会から 2018 年度事業計画および予算案を提案し、承認を求めます。

議長解任

閉会

第一号議案 2017年度事業報告および決算報告

1. 2017年度事業報告

2017年度（2017年9月～2018年7月）は、以下の事業を行った。

(1) 研究成果発表会および講演会

① 歴史地震研究会（つくば大会）の開催

以下の通り、第34回歴史地震研究会（つくば大会）を開催した。

主催：歴史地震研究会

会場：つくばイノベーションプラザ大会議室（茨城県つくば市）

日程：2017年9月15日（金）～17日（日）

15日：研究発表会・懇親会

16日：研究発表会・総会

17日：見学会（巡検）

参加者は会員84名、非会員26名の計110名だった。発表数は口頭38件、ポスター16件。懇親会の参加者は48名、巡検参加者は33名だった。

② 共催・後援など

他の学協会が主催する以下の1件の行事を後援した。

・第8回震災予防講演会「過去の大震災の復興から学ぶ地震防災」

2018年2月9日（金）、 場所：パシフィコ横浜（横浜市）

主催：日本地震工学会、 後援：歴史地震研究会を含む7団体

③ 歴史地震研究会（大分大会）の開催準備

以下の第35回歴史地震研究会（大分大会）の開催に向けて準備をした。

主催：歴史地震研究会

会場：J:COM ホルトホール大分（大分県大分市）

日程：2018年9月22日（土）～25日（火）

22日：公開講演会

23日：研究発表会・懇親会

24日：研究発表会・総会

25日：見学会（巡検）

研究発表会には発表申込みが58件あり、口頭40件とポスター18件からなるプログラムを編成した。

(2) 会誌の刊行

2018年7月末日に『歴史地震』第33号を発行した。論説11編、資料6編、報告6編、講演要旨40編、研究会記事1編を掲載し、総頁数は299ページ（本文290ページ、口絵等9ページ）であった。

発行部数は450部。発行時の会員（長期会費未納会員を除く）291名および無償送付先（大学・公立図書館等）125箇所を送付した。

(3) 広報活動

迅速な情報提供のため、以下の活動を行った

① 歴史地震研究会ホームページ

新たに歴史地震研究会の独自ドメイン(histeq.jp)を取得し、研究会独自のホームページを立ち上げ、これまで静岡大学に間借りしていたサイトからすべてのファイルを移設した。

2017年度中の主な更新内容は、『歴史地震』32号(2017)のPDF版、総会と幹事会議事録の掲載、第35回歴史地震研究会(大分大会)の案内、歴史地震研究会が後援する行事のおしらせの掲載である。

② メーリングリスト

会員連絡用メーリングリスト(mem_hes@histeq.jp)を新設し、会員向けにお知らせを送る仕組みを整備した。また会員以外にも開かれた歴史地震についての情報交換メーリングリストmushaの運営・管理を行った。

③ 大会の周知

大会への発表募集・会場等の案内や公開シンポジウムについて、日本地震学会・日本活断層学会・日本第四紀学会・日本地質学会・史学会・日本史研究会・地方史研究協議会等へニュースレター・メーリングリスト・ホームページ掲載および掲示を通して告知を行った。

(4) その他

① 総会

2017年9月16日(土)に総会が招集された。総会参加者は58名であった。総会議事録は、ホームページに掲載するとともに、会誌『歴史地震』33号に収録した。

② 幹事会

今年度は、以下の3回の幹事会を行い、歴史地震研究会の運営・事業について議論した。監査役には幹事会への出席を求め、適切な審議が行えるように努めた。幹事会の議事録をホームページに掲載するとともに、会誌『歴史地震』33号にも収録して会員に審議内容を伝えた。

2017年9月6日(2017年度第1回歴史地震研究会幹事会)

2017年11月20日(2017年度第2回歴史地震研究会幹事会)

2018年4月9日(2017年度第3回歴史地震研究会幹事会)

2. 2017 年度決算報告

2017 年度（2017 年 9 月～2018 年 7 月）の決算は次表のとおり。

歴史地震研究会 2017年度 決算報告

	項目	予算額	決算額	増減	内訳
収入	2018年度納入会費	1,236,000	232,000	▲ 1,004,000	58名×4000
	2017年度以前会費	0	374,000	374,000	85口
	会誌バックナンバー売り上げ	0	4,900	4,900	会誌, 予稿集代
	会誌口絵代	0	0	0	
	銀行利息	0	0	0	
	前年度繰越	1,915,892	1,915,892	0	
	合計	3,151,892	2,526,792	▲ 625,100	

支出	歴史地震33号印刷代	705,000	657,141	▲ 47,859	450部,送料・振込料込
	同編集費	25,000	0	▲ 25,000	
	HP管理費	12,000	12,216	216	振込料216円を含む
	会議費	300,000	53,440	▲ 246,560	
	功績賞関連費	100,000	0	▲ 100,000	
	歴史地震アーカイブ費	50,000	0	▲ 50,000	
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	19,250	▲ 10,750	
	2017年度つくば大会関係費 ^{*1)}	30,000	▲ 109,203	▲ 139,203	
	2018年度大会関係費	50,000	16,812	▲ 33,188	会場使用料
	2019年度大会関係費	30,000	0	▲ 30,000	
合計	1,332,000	649,656	▲ 682,344		

次年度繰越金	1,819,892	1,877,136	57,244
--------	-----------	-----------	--------

*1): 決算額は、つくば大会収支差額(56,003円)に前年度支出分(53,200円)を加えた額である。

第二号議案 会長選出

歴史地震研究会会則第 16 条第 1 項および付則第 2 条に基づき、幹事会の推薦を得て、現会長である松浦律子氏から歴史地震研究会会長に立候補の届け出があった。

第三号議案 監査役選出

歴史地震研究会会則第 16 条第 3 項および付則第 3 条に基づき、幹事会として現監査役である中村操氏および植竹富一氏を次期の監査役に推薦するとの届け出があった。

第四号議案 会則の改正

本部所在地の住所表記変更に伴い、歴史地震研究会会則第4条を次のように改める。

(旧) 本会は、事務所を東京都千代田区猿楽町 1-5-18 公益財団法人地震予知総合研究振興会に置く。

(新) 本会は、事務所を東京都千代田区神田猿楽町 1-5-18 公益財団法人地震予知総合研究振興会に置く。

第五号議案 2018 年度事業計画および予算案

1. 2018 年度事業計画案

2018 年度（2018 年 8 月～2019 年 7 月）は、以下の事業を行う計画である。

(1) 研究成果発表会および講演会

① 第35回歴史地震研究会（大分大会）の開催

以下の第35回歴史地震研究会（大分大会）を開催中である。

主催：歴史地震研究会

会場：J:COM ホルトホール大分（大分県大分市）

日程：2018 年 9 月 22 日（土）～25 日（火）

22 日：公開講演会

23 日：研究発表会・懇親会

24 日：研究発表会・総会

25 日：見学会（巡検）

② 第 36 回歴史地震研究会の開催準備

以下の要領で第 36 回歴史地震研究会を開催するために必要な準備を行う。

会場：徳島県徳島市・徳島大学地域連携プラザ

日程：2019 年 9 月 21 日（土）～23 日（月）

研究発表会、公開講演会、総会、巡検

③ 第 37 回歴史地震研究会の開催準備

第 37 回歴史地震研究会を開催するための候補地選定および日程調整などの準備を行う。

(2) 会誌の刊行

会誌『歴史地震』第 34 号を 2019 年 7 月末頃に発行する。このため、第 35 回歴史地震研究会での発表に基づく論文とその他の記事を募集し、編集規定に沿って編集作業を行う。

(3) 広報活動

迅速な情報提供のため、歴史地震研究会ホームページと連絡用メーリングリストの運営・管理を行う。また、メーリングリスト *musha* についても運営・管理を行う。

(4) 歴史地震研究に関する業績の表彰

歴史地震研究会功績賞の授賞対象者を選考する。

(5) その他

上述の各項に関して、適切な審議を行うため、2018年9月24日（月）の総会および監査役を招いた年間5回程度の幹事会を開催する。

2. 2018年度予算案

2018年度（2018年9月～2019年7月）の予算案は次表のとおり。

歴史地震研究会 2018年度 予算案

	項目	予算額	内訳
収入	会費	1,240,000	310名×4000円
	口絵代	46,000	2ページ分
	前年度繰越	1,877,136	
	合計	3,163,136	
支出	歴史地震34号印刷費	675,000	(1500円×450部,送料,諸費用込)
	同編集費	25,000	査読料+編集補助謝金
	HP管理・改修費	60,000	
	会議費	300,000	
	功績賞関連費	100,000	
	歴史地震アーカイブ費	50,000	
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	
	2018年度大分大会関係費	30,000	
	2019年度大会費	100,000	
	2020年度大会費	30,000	
	合計	1,400,000	
次年度繰越金		1,763,136	

説明資料

(1) 2017 年度会計監査報告書

歴史地震研究会


会長松浦律子様


2017 年度会計監査報告書

歴史地震研究会 2017 年度収支決算報告の監査を行い、予算の執行、帳簿、証券の整理等、正常適正に処理されていることを確認いたしました。ここに報告いたします。

以上

2018 年 8 月 17 日

会計監査 植竹富一 

会計監査 中村操 

(2) 2017 年度決算報告の補足説明

① 会員数について

2017 年 9 月 16 日現在（前回総会時）の会員数は 309 名であった。2018 年 8 月 1 日までに新規入会者 9 名、退会者 8 名の増減があり、会員数は 310 名となった。

■新規入会者：

原田 怜	深沢晋司	岡田浩二	柴山将一	山田昌樹
榎原雅治	山田隆二	上相英之	高山正久	

以上 9 名
(敬称略、入会順)

■退会者：

西田潤一	高橋恭平	長瀬聡	木呂子豊彦	上月康則
白石健一	新井健司	高橋智幸		

以上 8 名
(敬称略、退会順)

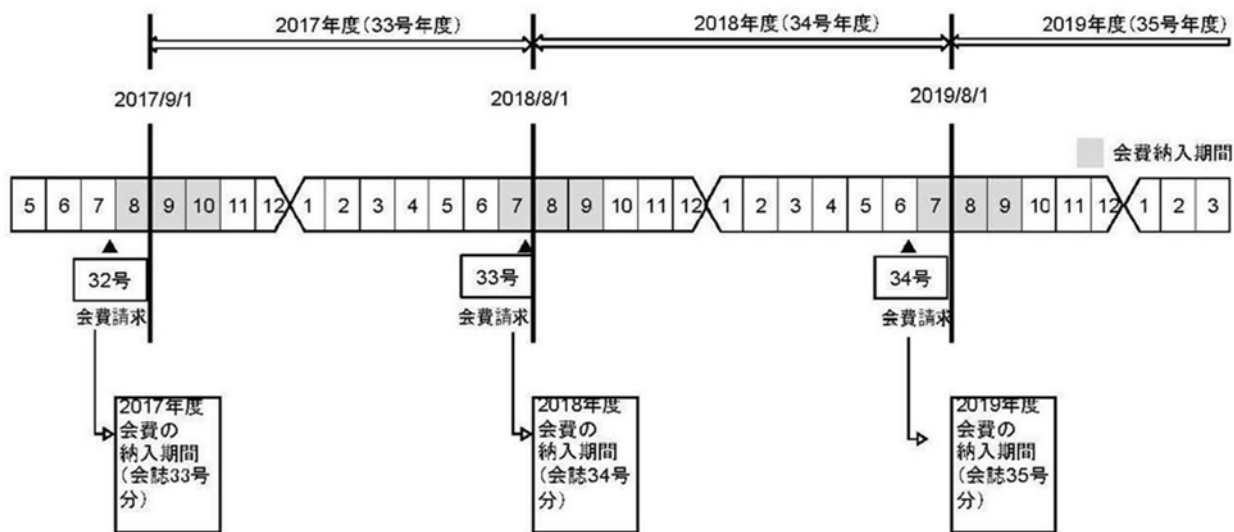


図1 歴史地震研究会の事業年度と年会費の納入期間について

③ つくば大会（2017年9月開催）の収支について

2017年度つくば大会決算明細

項目		口座	現金	合計	内訳
収入	参加費(会員)		126,000	126,000	1500円×84名
	参加費(非会員)		78,000	78,000	3000円×26名
	懇親会代		288,000	288,000	6000円×48名
	巡検参加費		222,000	222,000	6000円×36名+1名
	講演予稿集		4,720	4,720	1000円×1部、3000円×1部、送料360円×2部
収入合計		0	718,720	718,720	
支出	予稿集印刷費	81,216		81,216	予稿集100部81,000+振込手数料216
	会場使用料		53,200	53,200	2016年度支出済分
	懇親会費	281,750		281,750	飲食代281,318+振込手数料432
	巡検代	116,382	73,745	190,127	食事代53,460円、保険料3,885円、バス代115,950(高速代7,950含む)+振込手数料432、入館料14,400、駐車代2,000
	巡検講師謝金交通費		40,000	40,000	柳澤氏
文具代		16,424	16,424	名刺ケース2,257、名刺ケース2,376、レーザーポイント8,618、名刺ケース2,376、文具代797	
支出計		479,348	183,369	662,717	
収支差額		▲ 479,348	535,351	56,003	